

事業概要【「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県鳥取市、鳥取県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	371,354千円（96,907千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・舞台芸術を核とした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出の取組による、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアの創出		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 文化芸術の振興による地域活性化を図るうえでは、地域内外の多様な人々が学び、活動し、交流する空間や、新たな担い手を発掘し、知識や技術を継承していく仕組みなどが必要である。周辺環境の整備を行い、人材を育成するための支援、魅力発信などに対する支援を行う。 【主な経費】 ○舞台芸術を核とした交流の拠点づくり ・拠点整備等（補助金23,903千円） ・周辺環境整備（工事請負費46,872千円） ○舞台芸術を核とした人づくり ・演劇塾運営事業（委託料1,075千円） ・麒麟のまちアカデミー運営事業（委託料1,000千円） ・その他関連3事業（委託料7,870千円） ○舞台芸術を核とした賑わいづくり ・演劇×マルシェ開催事業（委託料2,000千円、補助金1,000千円） ・文化芸術観光創造事業（委託料1,235千円、補助金2,313千円） ・その他関連5事業（補助金9,639千円）		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	①旧鹿野町への転入者数（+17人） ②文化芸術鑑賞者数（+48,101人） ③鳥の劇場来場者数（+1,728人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1705372139920/index.html
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【住み続けられる中山間地域創造事業】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	177,809千円（46,483千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・移住や関係人口を増やし、少子高齢化に歯止めをかける。 ・買物環境を整備する企業、団体を支援し、中山間地域の買物環境を維持する。 ・路線バスやタクシーなどの二次交通を保持し、生活基盤を安定させる。 ・林業などの担い手不足の解消。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○公共交通の供給力の確保に向けたバス・タクシー事業者のドライバー確保に係る支援の拡充 ・日本版ライドシェア実施に係る支援（補助金）4,000千円 ○移住者増加を狙うPR動画の発信、県内の若い移住者等による若者目線の「とっとり暮らし」情報発信 ・動画作成費等（委託）10,162千円 ○林業技能職員のチェーンソー技術訓練、労災防止研修及び伐木競技者育成研修 ・研修費（委託）4,000千円	住み続けられる中山間地域創造事業 安心して住み続けられる中山間地域づくりに向け、地域に必要な生活基盤・サービスを提供する仕組みを形成し、それぞれの地域に合った人口減少に負けない地域づくりを強力に進める。 地域交通の確保向上 ○ 共助交通支援 ○ A I オンデマンド交通の導入支援 ○ ドライバー確保 医療体制の維持・強化 ○ 医療人材確保支援 ○ 訪問介護事業の安定確保 人材育成・人材確保 ○ 林業の担い手確保推進 ○ 特色を活かした学校の魅力向上 人口減少対策・移住定住 ○ UIターン促進強化 ○ 移住暮らしの情報発信 ○ ファミリーワーケーションの支援 持続可能な中山間地域づくり 中山間地域づくりを支援し、地域に合った「生活環境の維持」、「担い手確保」、「移住促進」等により豊かで住み続けられる中山間地へ 地域交通の確保 担い手確保 交流促進	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+938人） ②買物環境確保計画の策定件数(累計)（+11件） ③コミュニティ・ドライブ・シェアの取組エリア数(累計)（+22エリア） ④林業への年間新規就業者数（+160人）	関連URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

事業概要【人口最少県が挑む！人手不足に打ち勝つ人材獲得・育成事業】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	353,082千円（120,538千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・企業DX化により、県内産業の労働生産性の向上を図る ・学生の県内定着や、県外に流出した技術人材等のUターンを促進する ・高度ものづくり関連人材の育成など、労働者の能力向上を図り、賃金アップや企業の収益向上を実現する ・女性・若者・障がい者など多様な人材にとって魅力ある職場環境づくりを進め、新たな働き手の掘り起こしを図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ 学生や若手社会人を対象にした未来のデジタル人材育成 ・ IoTスキルアップチャレンジ事業（委託料）2,220千円 ○ 県内企業の高度ものづくり人材の育成 ・ 基盤・先進技術技術講座（謝礼等）2,400千円 ○ インターンシップや県内企業の魅力発信により学生人材の県内定着を促進 ・ インターンシップの実施（委託料）45,443千円 ・ とっとり就活サイトの運営（委託料）13,878千円 ○ 鳥取県版スタートアップエコシステムの醸成 ・ 地域起業家アクセラレーションプログラム実施経費（委託料）4,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域へのUIターン数（+938人） ② 大学生の県内企業インターンシップ参加者数（+160人） ③ 高度ものづくり関連人材の育成者数（+750人） ④ 地域課題解決型創業の輩出件数(累計)（+30件）	関連URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

事業概要【若者・女性にも選ばれるとっとりづくり事業】

申請者	鳥取県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	724,210千円 (243,225千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 多様な働き方を県内に広げることにより若者や女性の県内就職・定着に繋げ、地域の担い手不足の解消を図る。 - 若者目線で県の施策を再構築し、将来にわたって魅力ある鳥取県の形成を目指す。 - 子どもたちが他者と協働して自ら課題を解決する力を身に着けるため、将来地域を支える人材の育成を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○若者が繋がり、活躍する環境づくりに関する事業 - 県内の企業情報や魅力の発信（委託料）39,000千円 - 若者の発想による地域づくり推進（報償費、委託料等）27,770千円 ○魅力ある働き方・職場づくりに関する事業 - 多様な働き方導入に向けた専門家派遣（委託料）10,693千円 - リモートワーカーの育成や就労支援（委託料）20,605千円 ○スモールメリットを活かした人づくりに関する事業 - ふるさとキャリア教育の推進（委託料等）12,425千円 - 高校魅力化の推進（負担金）11,165千円						若者・女性にも選ばれるとっとりづくり 若者が繋がり、活躍する環境づくり - 若者目線での情報発信 - 若者同士の交流基盤の創出 - 若者がチャレンジできる機運醸成 - 県外大学・企業との「新たな関係人口」の創出 魅力ある働き方・職場づくり - 女性目線での職場・地域の課題整理 - 企業の課題に応じた専門家派遣 - 男性育休取得促進に向けた伴走支援 - スポットワーク導入支援 スモールメリットを活かした人づくり - ジュニアアスリートの育成 - 誰一人取り残されない学びの保障 - 次世代の鳥取をを創る人材の育成 - 本県への愛着形成・県内定着への機運醸成 男性育児休業取得率の向上や多様な働き方が県内企業に普及 若者やあらゆる世代の人々が、より良い地域を目指して主体的に活動 若者を中心とした幅広い層の多様な提言・提言を収集、若者目線の施策 若者や女性の県内就職・定着 地域の担い手不足の解消 魅力ある鳥取県の形成	
地域の多様な 主体の参画	各商工団体と協働で新しい働き方の導入や働きやすい職場づくり等に取り組むことで、多様な働き方の実現と県内の長期的な人材確保に繋げる。 若者と県内企業や大学等の教育機関との交流を深めたり、学生の地域との関わりを増やすことで、若者の県内定着に繋げる。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間U I Jターン数（+639人） ②イクボス・ファミボス宣言企業数（+213社） ③「将来は今住んでいる地域や鳥取県で働きたい」高校生の割合（+3.54%）

事業概要【次世代を担うスーパー種雄牛事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	558,616千円 (26,695千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	「和牛といえば鳥取」と呼ばれる産地への更なる飛躍を目指し、優秀な種雄牛の造成及び活用によって和牛の改良と振興を図ることで、収益性の高い畜産経営を実現し、農林水産業の更なる活性化を図る。 - 肉質日本一となった「白鵬85の3」につづく、次世代のスーパー種雄牛を効率的に造成するため、研究体制や種雄牛・改良の基幹となる優良種雄牛の生産・管理体制等を構築する。						
事業概要・ 主な経費	「和牛王国とっとり」を再度復活し、鳥取県の畜産を元気にして全国に発信するため、 ✓「白鵬85の3」のような全国に誇る種雄牛を作るための研究能力を高める。 ✓猛暑や寒冷による種雄牛の体調変動を最小限にし病気にかかりにくい牛舎を整備する。 【ソフト事業経費】 ○次世代のスーパー種雄牛造成事業 ・県内雌牛全頭ゲノム検査費用（需用費）1,000千円 ・雄牛購入（備品購入費）12,000千円 ・受精卵ゲノム分析費用（需用費）3,600千円 【拠点整備事業経費】 ○現牛舎の解体設計、基本設計 ・施設整備 9,663千円					次世代を担うスーパー種雄牛	
地域の多様な 主体の参画	大学や(独)家畜改良センターから種雄牛と繁殖雌牛の飼養管理方法等に係る、より実践的な助言を基に、飼養管理体制の高度化に向けた環境整備を進める。 高能力種雄牛の造成や研究体制等について、鳥取県内のJA等と連携して検討を進め、種雄牛造成や県内雌牛の改良を加速化させることで、「鳥取和牛」のブランド価値を高め、持続的農業の発展に繋げていく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+207億円） ②鳥取県畜産試験場の精液販売収入（+118,050千円） ③鳥取県の和子牛生産頭数（+1,150頭） ④鳥取県の和子牛せり市場の年間総販売額（+1,312百万円）

事業概要【 Welcome ようこそ Manga kingdom まんが王国とっとり再建物語事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	944,866千円 (315,622千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・鳥取県出身の漫画家、水木しげる氏（「ゲゲゲの鬼太郎」の作者）と青山剛昌氏（「名探偵コナン」の作者）の世界観を推す県内の観光地の取組に加え、そのほかのまんが・アニメのコンテンツを活かした取組を加速させる。 ・県民が本県に愛着と誇りをもち、地域の魅力向上に向けた主体的な観光振興策の創出を図る。 ・地域一体となった観光地づくりを実現し、「持続可能」で「高付加価値」な地域社会・経済の好循環を目指す。 ・観光ブランドイメージの形成・定着や、魅力ある観光素材の磨き上げ等により交流・観光人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○まんがを活かした魅力の向上・誘客事業 ・アニメツーリズムの促進（補助金）10,000千円 ・観光誘客に取り組むための補助金の充実（補助金）20,000千円 ○ターゲットを定めた効果的なPRによる知名度向上 ・まんが人気が高い台湾や香港でのまんが・アニメイベントへの出展（委託料）6,922千円 ・旬の情報発信（委託料）20,000千円 ・県西部の空港から国際定期便が就航する東アジアでの誘客プロモーションの強化（委託料）174,500千円 ・新たな市場の開拓に向けた海外での誘客戦略（委託料）15,000千円 ○鳥取県ならではの観光素材を活かした「稼げる観光産業」の実現 ・鳥取県内の自然や文化を活かしたアドベンチャーツーリズムの推進（委託料）15,000千円 ・サイクリングツーリズムの定着に向けたシェアサイクル・レンタサイクルの拠点整備（補助金）5,000千円 ・誘客促進イベント支援（補助金）15,000千円					Welcome ようこそ Manga Kingdom まんが王国とっとり再建物語 まんが・アニメを活かした 観光誘客 県内出身の漫画家の作品や県内を舞台にしたアニメなどをテーマにしたイベントなどを開催を支援  効果的なPRによる 知名度向上 本県から直行便がある、香港や台湾等の東アジアをターゲットとした観光情報の発信  観光素材を活かした 稼げる観光産業 本県の雄大な自然や食、温泉など豊富な観光資源、自然環境を活かしたアウトドアなどのアドベンチャーツーリズム  ・日帰り観光から宿泊観光への転換 ・宿泊費や飲食費など消費額の拡大 観光産業の高付加価値化による地域社会・経済の好循環	
地域の多様な 主体の参画	観光関係団体や新聞社等と連携し、まんが・アニメと本県の観光を結び付けたプロモーションを展開するとともに、旅行商品の造成やSNSによる情報発信の強化、国内外での鳥取県の認知度を高める。 地域においても鳥取県の魅力ある観光資源の価値を再認識し、その魅力を伝えることで、県全体で観光振興に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（実人数）（+1,305人） ②宿泊者数（実人数）（+937千人） ③県外客の来訪回数（3回以上の割合）（+4.2%） ④外国人延べ宿泊者数（+229千人泊）

事業概要【令和7年開館！鳥取県立美術館を拠点としたアート・文化振興】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	590,334千円 (202,834千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 県立美術館を核として鑑賞や創作活動、発表などの場を提供する。 - 子どもたちの豊かな感性や創造性を育むとともに、将来性のある若い活動者等の活躍を支援する。 - 新たに開館する県立美術館を中心としたアートや地域の文化資源を積極的に活用し、人や地域をつなげ、活力ある豊かな地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	県立美術館開館を契機とした各種事業を展開し、アート振興と誘客を促進し、地域の賑わい創出を図っていく 【ソフト事業経費】 ○文化芸術に親しむ環境づくり - 県立美術館での大規模企画展開催、リピート来場者定着（報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料等）107,369千円 - 多様な発表や鑑賞の機会の提供（委託料）16,447千円 ○次世代の文化芸術を担う人材育成 - 作品展示・舞台公演の補助（会場費、印刷費等）1,600千円 - 文化芸術活動推進に向けた外部講師の招へい（講師謝金、旅費、会場費等）1,300千円 ○文化・芸術資源を活用した賑わい創出 - 県立美術館開館の県外向けプロモーションの実施（委託料）16,000千円 - 県立美術館開館を契機とした地域の文化資源の知名度向上と誘客促進に向けたプロモーション実施（委託料、旅費、報酬、報償費）4,963千円					県立美術館を拠点としたアート・文化振興 - 県立美術館を核として、活気ある地域づくりを推進 心豊かで潤いのある県民生活の実現を目指す  令和7年3月30日開館した県立美術館  館内のカフェスペース  作品やアーティストと出会う アート・ラーニング・ラボ(イメージ)	
地域の多様な 主体の参画	旅行事業者や県文化振興財団と連携して、県内の文化・芸術資源を活用したキャンペーンやイベントを実施するとともに、県内学校や文化団体も参画することにより、地域の賑わい創出やアートに親しむ環境づくりを促進する。 文化団体や地元メディアと連携し、アート振興や県内外からの誘客促進に向けて、効果的な情報発信を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当該事業に係る関係人口数（「ふるさと来LOVEとっとり」メンバー数）（+300人） ②鳥取県の文化的な環境に満足している者の割合（+4.5%） ③児童・生徒を対象とした文化芸術鑑賞等への参加学校の割合（+4.7%）

事業概要【地域産業の成長力強化・雇用の創出事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	787,322千円 (245,214千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- ものづくり・食品加工産業などの基盤的産業の成長、新産業の創出、地場産業を担う小規模事業者の経営力強化等の多面的な取組を展開することで、県内産業の持続的な発展を加速させる。 - 深刻化する人材不足を解消するため、職場環境の整備など多様な人材活用、成長分野の人材育成等に取り組み、県内産業を支える人づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【県内企業の競争力強化事業経費】 ○企業のDX実装支援（補助金）20,000千円 ○企業の生成AI等活用促進事業 ・専門家等による個別支援、セミナー開催（委託料）16,500千円 ○サプライチェーン再構築、海外からの受注拡大等の企業支援（補助金）10,000千円 【新たな成長産業創出事業経費】 ○鳥取砂丘月面実証フィールドを活用した宇宙ビジネスの創出 ・発信・利用促進（委託料）14,900千円 ・宇宙産業人材育成（委託料）6,500千円 【人材確保・育成事業経費】 ○都市部からの人材の獲得・活用 ・キャリアシフト希望者向け合同企業説明会（委託料）9,000千円 ○外国人材の獲得・活用支援（報償費、委託料）4,220千円					鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」を活用して宇宙ビジネスを推進し、地域産業の成長・創出を目指す 	
地域の多様な 主体の参画	若者団体や日本労働組合総連合会鳥取県連合会から人材確保や経営支援の視点から助言をいただき、若者を中心とした人材確保に繋がる支援を行う。 商工会議所等からKPI達成に向けた助言や各企業等へのセミナー・支援制度の紹介を通して、県内事業者が新たな事業を展開できる場の創出・企業の経営力強化を支援するとともに、新聞社等と連携したイベントやキャンペーンに関する情報発信に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+960人） ②経営改善計画の策定件数（+75件） ③新たな産業分野における事業化件数（+45件）

事業概要【付加価値創出に向けた農林水産業の振興】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	992,057千円 (368,257千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・産地主体の後継者育成・確保体制を整備し、新規就農者の大幅増加を目指す。 ・省力化技術の普及や農地集積、品種転換を進め、収益性向上を図る。 ・県産品の認知度を向上させ、付加価値の創出を図る。 ・農業の収益力を強化し、雇用創出に伴う税収の増加に繋がる好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○収益力向上事業 ・集落農業組織による地域計画実現に向けた支援（補助金）2,000千円 ・水田農業の自動操舵の機能向上調査研究（委託料、有識者招致にかかる謝金及び旅費）10,606千円 ○農産物の販路拡大・輸出促進事業 ・県産食品の輸出強化プロモーション（委託料）29,446千円 ・県外観光客への県産食材PR（委託料）68,073千円 ○担い手確保・育成推進事業 ・コーディネータの配置及び外国人材の管理費等支援（委託料）15,618千円 ・連携拡大推進員の設置支援4,770千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 ○主要園芸品目の生産性向上や産地規模拡大24,309千円 ○作業場及び酪農・養豚・鶏の暑熱対策への支援26,438千円等					 柿(輝太郎)  梨(新甘泉)  (鳥取和牛オレイン55)  いちご(とっておき)	
地域の多様な 主体の参画	鳥取県農業協同組合中央会等と共同で生産者への営農指導・技術交流、機械施設の整備、販路開拓等を行うとともに、新聞社等と連携し、県産品のPRを強化することで販路拡大・収益性の向上を図る。 担い手育成機構等から助言をいただきながら、担い手・新規就農者の確保・育成などに取り組む経費の支援を行い、新規就農者の増加や人材育成を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業生産額（+72億円） ②認定農業者等数（+15人） ③農林水産物等の輸出額（+4.5億円） ④鳥取型低コストハウス導入面積（+3.6ha）

事業概要【みるくサプライチェーン強化事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	261,410千円 (254,743千円)	
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	- 県内で生産された生乳を原料とした高次加工品を増産することにより、酪農家の経営安定及び安定生産を図り、併せて県産牛乳の使用に特化した食事やソフトクリームを楽しむことのできるカフェや牛乳・乳製品の加工品等を購入できる畜産物加工展示施設を、大山地区のランドマークとして魅力のあるコンテンツを有した施設とし、インバウンド等により更なる観光客数の増加を図る。 - 発酵乳等仕向けの生乳を用いた乳製品製造量を増加させるため、製造工場において味覚センサーを導入し、新商品開発や技術の獲得・開発スピードの向上への支援を行い、県内酪農家の安定的な経営に向けたみるくサプライチェーン強化に寄与する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ○開設から25年以上が経過した「大山まきばみるくの里」は、施設のデザイン等が現在の観光客のニーズに合わないものとなっているため、施設のリニューアル改修を行い、快適な空間や誘客につながるコンテンツを整備する。 ○「大山まきばみるくの里」の観光施設としての魅力を向上させ、施設の来場者数の増加、乳製品の販売増加を図り、それに伴う県産乳製品のブランドイメージを向上させ、国内外での県産乳製品の販路拡大を実現する。 【拠点整備事業経費】 ○畜産物加工展示施設(大山まきばみるくの里)の改修 ・建築物本体工事 210,221千円 ・電気設備工事 39,732千円 ・工事監理費 4,790千円					みるくの里 リニューアル イメージ  カフェスペース 白バラブランド製品		
地域の多様な 主体の参画	「大山まきばみるくの里」をリニューアルして、酪農専門農業協同組合と連携し、快適な空間や誘客につながるコンテンツを整備をする。 県内で生産された乳製品のブランド化や認知度向上を目指し、県内の高等教育機関やメディアとともに、商品開発や情報発信を促進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内の農業産出額 (+161億円) ②アイスクリーム販売高 (+14億円) ③みるくの里来場者数 (+40万人)	

事業概要【鳥取式・買物環境支援（安心して住み続けられるふるさとづくり）】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	609,000千円 (203,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 市町村が主体となって行う買物環境確保施策を支援し、持続的な買物環境確保に努める。 - 生活機能の維持・確保や地域・集落基盤の創設・強化等、地域の実情に応じた安心して住み続けられるふるさとづくりを推進する。 - 人口減少や少子高齢化を背景に、県内全域で中山間地における安定した雇用環境の創出と担い手の確保、地域活力の低下が課題となっているため、それらを解消し、地域活力の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 地域や民間事業者と連携した先導的な取組や、地域が行う新たなふるさとづくりに対して市町村と連携して包括的に支援を行う。 ○買物環境確保に向けた事業に対する支援 - 市町村への補助金 100,000千円 ○安心して住み続けられるふるさとづくり事業への支援 - 市町村への補助金 100,000千円 ○特定地域づくり事業協同組合制度促進 - アドバイザー業務の委託料 1,000千円 ○高校生が地域と連携して魅力発信 - 実行委員会への補助金2,000千円					 安心して住み続けられる持続可能な地域へ！ 	
地域の多様な 主体の参画	持続的に安心して住み続けられるふるさとを実現するため、民間企業及び県内高等学校、地域運営組織等と連携し、施策を検討・実施する。 特定地域づくり事業協同組合の活用促進と安定した組合運営により、中山間地域における安定した雇用環境の創出と担い手確保を図り、地域活性化を進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①転出超過数（▲1,098人） ②新たな買物環境確保に関する取組件数（+10件） ③安心して住み続けられるための拠点づくりに取り組む地区数（+6地区）

事業概要【「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県鳥取市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	128,132千円（30,970千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・SDGsの考え方を取り入れた「再生可能エネルギーの地産地消」と「次世代農業」と「鳥取型ワーケーション」の取組によるローカルイノベーションの創出と関係人口の拡大		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 各取組についてSDGsの考え方を取り入れ、経済・社会・環境の3側面をあてがい、各側面同士が連携して繋がる取組を計画的に進めていくことで、政策連携による高い相乗効果を生み出させる。また、3側面を繋げた統合的な取組を積極的に情報発信していくことで、地域経済の活性化を図る。 【主な経費】 ○持続可能な農業経営に向けた取組み ・再エネを活用したスマート農業実装支援（補助金5,000千円） ○都市部から地方への人材確保の取組み ・ワーケーション関連経費（補助金1,800千円） ・地域資源を活用した地域活性化関連経費（補助金2,000円） ○持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み ・エネルギー地産地消まちづくり実装支援事業（補助金4,000円） ・太陽光パネルリサイクル推進事業（補助金4,000千円） ○上記の取組効果を高める統合的な取組 ・情報発信経費（委託料3,000千円、補助金3,000千円） ・啓発事業等の開催（委託料3,037千円） ・その他関連4事業（5,133千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数（+112社） ②再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額（+47,800千円） ③ワーケーションをきっかけとした移住相談者数（+60人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1705372139920/index.html

事業概要【インバウンド誘致で切り拓く麒麟のまち圏域の未来創造事業】

申請者	鳥取県鳥取市ほか6自治体					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	584,678千円 (215,868千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 日本遺産を活用した“歴史文化”と“自然”の融合による新たな魅力の創出を図り、圏域への観光客の誘客を目指す。 - インバウンド等受入体制整備と魅力発信により、観光消費の拡大等による持続可能な圏域の活性化を目指す。 - 構成文化財の保存、活用に関わる圏域住民の地域に対する愛着や郷土愛を育み、人口減少や歴史・文化・伝統芸能等の衰退に歯止めをかけ、圏域の発展、経済の好循環につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 日本遺産推進のための組織体制強化支援や、外国人観光客の受け入れ環境の整備を行う。また「麒麟のまち」の魅力を発信し、交流人口の拡大につなげるとともに、伝統芸能の体験や講座を実施し、伝統芸能継承のための担い手発掘や育成を行う。 【ソフト事業経費】 ○日本遺産「麒麟のまち」推進協議会の体制強化による地域活性化事業 ・日本遺産を活用した稼ぐ地域づくりを構築するための経費（負担金）：14,100千円 ○インバウンド等受入体制整備事業 ・情報発信ツール多言語化に係る経費（補助金）：12,748千円 ・その他14事業（委託料、需用費、使用料、補助金、負担金、手数料、備品費、工事請負費）：121,148千円 ○歴史・文化・郷土芸能等を活用した圏域の魅力発信・普及啓発事業 ・伝統芸能披露や多言語パンフレット配布など圏域の知名度向上を図り、国内外からの誘客促進を進めるためのPRイベントを開催する経費（委託料）：12,581千円 ・その他13事業（委託料、補助金、負担金、需用費、報償費）：53,951千円 ○人材育成事業 ・体験や交流などとおして人材育成や人材発掘を進めるための経費（委託料、補助金、需用費）：1,340千円						
地域の多様な 主体の参画	〔商工団体〕 インバウンドをはじめ、伝統・文化など圏域の魅力を掘り起こし、観光需要を高める取組みを行う。 〔マスメディア〕 イベント情報や事業に関する情報を提供していただき、施策に反映する。 〔地元団体〕 伝統芸能継承当事者としての目線での意見について、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①圏域を訪れる旅行者の観光消費額（+3,044円） ②鳥取県東部の外国人観光入込客数（+14,368人） ③「このへん共和国」会員登録数（+1,456人） ④日本遺産・麒麟獅子舞の保存継承プログラム参加者数（+25人）

※鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町の広域連携事業

事業概要【鳥取型デジタル人材育成・活用プログラム実践事業】

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和7年度第1回募集		
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	73,964千円（19,764千円）		
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野		
目的・効果	・地元人材を対象とした「デジタル人材育成・活用プログラム」を実施し、デジタルスキルの向上を図る。 ・育成された人材を採用・活用いただける企業を、市内・市外問わず開拓して雇用拡大を目指す。 ・県外のリモート人材を、本市への転職なき移住者に繋げていく取組を実施する。								
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市内人材と県内人材、地元企業と県外企業がそれぞれ主体となる、デジタル人材育成・活用プログラムを実践する。 【ソフト事業経費】 ○〔地元人材育成〕地元側デジタル人材育成に向けた取組 ・デジタル人材育成プログラム構築業務（委託料）5,000千円 ○〔県外人材確保〕県外リモート人材確保にむけた取組 ・地域課題解決に向けた取組の実施（委託料、負担金）1,330千円 ○〔県外企業誘致〕県外企業の人材開拓に向けた取組 ・拠点誘致活動業務（委託料）6,834千円 ○〔地元企業支援〕地元企業への人材確保に向けた取組 ・リモート人材活用啓発事業（委託料）1,000千円 ○上記の取組効果を高める統合的な取組 ・各種広報活動 5,600千円						地元側	都市圏側	
						人材育成・活用	・デジタル人材育成プログラム	✕	・県外リモート人材の転職なき移住 ・地域課題解決に繋がる事業支援
						企業・団体	・リモート人材の活用を啓発 ・既存業務の切り出し支援		・フルリモート採用企業の開拓 ・都市圏企業とのマッチングイベント
						統合的な取り組み	・各種広報活動（ホームページ・パンフレット・動画制作等）		
地域の多様な 主体の参画	〔産業〕県外のリモート人材を地元企業に提供できるよう、自社のソリューションを提供し、新規事業への不安がある地元企業へのサポートを行う。 〔行政〕企業の開拓へ向け県と市で営業活動を行い、活用いただく企業に対して、かかる費用の一部を支援する。 〔金融〕人手不足に悩む地元企業に対してリモート人材活用の提案を行い、既存業務の見直しに必要な資金支援・経営支援を行う。 〔広報〕動画やウェブ記事等のアクセス分析、アンケートの集計などにより、満足度の高いプログラム内容になるよう改善していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地元デジタル人材の新規採用者数（+10人） ②県外からの転職なき移住者数（+12人） ③サテライトオフィス設置社数（+4社） ④リモート人材を活用する地元企業数（+6社）		

事業概要【地域資源で未来につなげる！「とっとり」農林水産業魅力創出事業】

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	315,933千円 (68,378千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・「農林水産業振興プラン」を策定し、課題である農林水産物のブランド化と販路の開拓、地域資源を活用した新たな特産品の創出、中山間地域の活性化に資する施策を産学官連携のもと実践することで、持続可能な農林水産業の実現と地域の活性化を図る						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本市の農林水産業が直面する課題解決に向け、新たなプランを策定し、持続可能な農林水産業の実現と地域の活性化に向けた取組を推進する施策の産学官連携による企画立案及び実践を行う。 【ソフト事業経費】 ○新たな農林水産業を振興するためのプラン策定 11,000千円 ○特産品創出と販路の拡大に関する事業 1) マルシェや商談会、新商品開発支援 10,406千円 2) インターネットモール・リアル店舗の運営支援 21,772千円 3) 公設卸売市場でのPR事業（委託料）500千円 4) 営農アプリ導入運用支援（委託料）1,430千円 5) 特産品成分分析（委託料）1,000千円 ○地域資源を活用した新たな特産品の創出 ・鳥取県産木材の建築資材への活用 10,000千円 ○温泉熱を活用した新たな特産品産地づくり 12,270千円						
地域の多様な 主体の参画	【商工団体】 構成企業のネットワークを生かし、地場産品の販路拡大や消費者ニーズを踏まえた販売や魅力発信を行う。 【近隣自治体】 連携中枢都市圏域に点在する地域資源を活用し、圏域全体で磨き上げやプロモーションを行うなど、連携した取組を実施する。 【大学】 大学が鳥取市が策定する委員会に加わり、課題や方向性について分析・意見等を行うとともに、本交付金事業で行う事業の検証や農産物成分分析を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業総産出額（+9億円） ②インターネットモールの参加店舗の売上総計（+2,515.60万円） ③連携中枢都市圏の特産品を販売するリアル店舗の売上（+1,126.96万円） ④農林水産物の商談成立件数（+30件） ⑤中山間地域農地（遊休農地含む）の畑地及び果樹園、自己保全農地としての利用面積（+4ha）

事業概要【鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ拠点整備事業】

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,400千円 (180,400千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・ 中心市街地内でJR鳥取駅近くに立地する一部が遊休不動産となっている民間所有ビルをリノベーションし、ビジネス・コミュニティ拠点を整備。 ・ 魅力ある働く環境の充実と都市部からの新しい人流の創出を図るとともに、都市部と地元の企業・人材の交流促進により、イノベーションの創出やまちづくりのプレイヤーの発掘・地域の社会課題解決の担い手となるゼブラ企業の創出などを図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 民間所有ビルの一部をリノベーションし、8室の入居スペースを備えたサテライトオフィスや最大30名の同時利用可能なコワーキングスペース・コミュニティスペースを備えた拠点として整備予定。 若者が憧れる職場の確保や都市部と地元の交流によるビジネスマッチング等の促進、まちづくりのプレイヤー発掘、ゼブラ企業の創出といった機能を持たせ、地域課題の解決に資する拠点とする。 【拠点整備事業】 ・施設整備 161,600千円 ・備品整備 18,800千円					 4	
地域の多様な 主体の参画	【産業】 地元企業や地元学生の参画を促し、ビジネスや学生のチャレンジに対する伴走型支援を行う。 事業が地域に受け入れられるよう、中心市街地のステークホルダーとの調整や参画を行うなど、まちづくり社会の中間支援機能を担う。 【大学】 起業支援プログラムの連携実施による大学生の参画を促すとともに、都市部と地元企業・人材の交流の場にも参画していただくことで共同研究の可能性を探る。 【金融】 本事業への地元企業の参画促進や拠点から生じた新規事業案に対する金融支援を行うとともに、拠点運営に係る助言を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鳥取市への移住者数（拠点関連）（+39人） ②施設の年間延べ利用者数（+12,000人） ③施設に入居した企業数（+8社） ④中心市街地での新規事業・起業・創業件数（まちなかビジネス・コミュニティ拠点関連）（+8件）

事業概要【中海・宍道湖・大山圏域 台湾との経済交流促進による中小企業活性化事業 **旧制度（推進）**】

申請者	鳥取県米子市ほか4自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	30,834千円（10,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・台北市との交流を広域連携自治体の圏域全体で行い、専門人材の確保や台北におけるニーズ把握、圏域内企業のシーズの掘り起こし、台湾向け商品の提案、台湾向けのオンライン販売・越境ECの導入支援、対面及びオンラインによるB to Bのビジネスマッチング開催等を通じて企業進出等の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 前年度開催したビジネスマッチングに参加した企業等の意見を商品開発にフィードバックするなどし、商談成立件数を増加させ、安定した実績に繋がる取組による充実した支援を実施する。 【主な経費】 支援組織の運営 ・圏域市長会とブロック経済協議会が一体となった支援組織運営（会場費、事務費等）300千円 台湾向け商品の提案・開発 ・専門家による調査及び支援等（委託料）1,000千円 台北市等でのビジネスマッチングの開催 ・バイヤーの招聘及び運営等（委託料）4,500千円 建国花市及び台北温泉祭りでの圏域情報発信（物販・観光PR・文化イベントの開催） ・会場運営等（委託料等）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①境港における台湾との貿易額（+3,500万円） ②商談会等マッチング件数割合（+40%） ③商談会等成約及び成約見込数割合（+20%） ④台湾向け商品の作成・提案件数（+10件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.nakaumi.jp/

※鳥取県米子市、境港市、島根県松江市、出雲市、安来市の広域連携事業

事業概要【公共交通を核とした地域活性化プロジェクト】

申請者	鳥取県米子市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	275,880千円 (115,380千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 地域の交通の結節点である淀江駅と周辺の集客施設である伯耆古代の丘公園等の利用促進につながる整備を行うほか、国内外に向けたエリアプロモーションを実施し、地域全体での集客能力の向上を図る。 - コミュニティバス導入に向けた実証実験を行い、公共交通の基盤性を進め、地域住民の自家用車以外の移動手段を確保するとともに、新たな来訪者の創出により持続可能な公共交通体系の構築を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 日常生活に不可欠である交通サービスを維持していくため、公共交通の利便性向上、目的地の魅力向上・情報発信による利用促進、喫緊の課題である持続可能な交通体系の構築に取り組み、地域住民の生活を支える公共交通を確立する。 【ソフト事業経費】 コミュニティバスの実証実験（委託料）30,000千円 乗継拠点整備 7,000千円 国内外に向けた情報発信及び環境整備（委託料等）6,830千円 東京大学による調査研究「東大人文・淀江プロジェクト」の実施 - 研究会の立ち上げ、シンポジウム（委託料）7,000千円 【拠点整備事業経費】 コミュニティバスの実証実験（小型バス購入費）48,000千円 淀江駅の利用促進に係る待合い及びトイレの整備 - 実施設計 5,100千円 伯耆古代の丘公園の魅力向上のための整備 - 改修工事 9,250千円 ・高木伐採 2,200千円					 JR 淀江駅  コミュニティバス  伯耆古代の丘公園	
地域の多様な 主体の参画	公共交通は住民、企業の生活、経済活動に多分に影響し、公共交通の持続的な提供は本市の重要施策のひとつであることから、本市有識者会議で意見聴取、検証を行い、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①路線バスの収支率（+9.6%） ②伯耆古代の丘エリアの観光施設・歴史文化施設の年間入込客数（+40,800人） ③1日あたりの伯耆古代の丘エリアの滞在人数(来訪者)（+52人） ④市の運営するコミュニティバスの年間利用人数（+29,030人） ⑤皆生温泉年間宿泊客数（+13,926人） ⑥市内の年間外国人宿泊客数（+112,490人）

事業概要【歩いて楽しいまち「米子」推進プロジェクト】

申請者	鳥取県米子市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	640,201千円 (432,970千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	- 米子市エリア全体の魅力を十分に引き出し周遊性を高めていくために、新しい事業にチャレンジしやすい環境を整え新規創業を促し、市民生活を豊かにする新しい価値、サービスや雇用をうみだすことで、地域の魅力向上をめざす。 - 人口減少時代に対応したまちなかのあり方の検討、公園や活用可能な空間の整備及び利活用の提案を行い、次代を担う人材の育成、新たな素材の掘り起こしなどをめざす。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 中心市街地や皆生温泉エリアの公園等の整備により、歩行者中心のまちづくりにつなげる。まち歩きしやすい環境整備により、地域のスポットや地元の商店などの活性化、空き地空き家等の低未利用地の流動化機運醸成につなげ、地元経済の活力向上を図る。 【インフラ整備事業経費】 まちなかでの滞在時間の延伸に係る公園等の整備 - 住宅対策事業 90,270千円 - 都市環境整備事業 278,000千円 【ソフト事業経費】 駅前通りのめざす姿の検討に関する事業 - 駅前通りの整備に係る基本計画策定（委託費）21,000千円 - 車道を活用したパークレット設置社会実験（委託費）36,000千円 YONAGOまちなかハイスchool事業 - フィールドワーク、プレゼンテーション等実施（委託費）3,500千円 イベント開催応援事業 - イベント開催に係る費用の一部補助 1,700千円 空き店舗活用支援事業 - 給排水設備工事の費用の一部補助 2,500千円					 駅前通り  皆生温泉  JR米子駅前のイベント	
地域の多様な 主体の参画	地元の公共交通機関と連携し、各利用状況等を踏まえ、計画策定や社会実験への意見聴取を行いつつ、各機関がもつ施設や設備の活用について協力をいただき、各種取組やイベントを実施する。 整備するまち歩きしやすい環境において、商工会議所、観光協会、金融機関等と連携し、市内事業者の協力を得ながら滞留空間の利活用を促進し、報道機関においては意見聴取、情報発信において協力いただく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規創業件数（累計）（+140件） ②駅前通り周辺の歩行者交通量（+51人） ③米子駅北側の屋外イベント数（+6件） ④米子市公会堂周辺エリアの1日あたりの滞在人数（+150人）

事業概要【若者と地域がともに育つ、雇用対策・雇用創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県倉吉市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	86,900千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的・効果	- 若者と地域企業のつながりを充実させることで、若者が起業しチャレンジしやすい環境をつくる - 若者が地域企業への理解を深め、自ら求める働き方とのマッチングを実現する - 地域企業が若者の求める働き方を理解し、新規雇用を促進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	若者 ← マッチング → 地域企業 若者と地域企業が互いにマッチングすることで雇用を創り、人材不足を解消する 1. 地域起業人材育成事業 若者が地域の企業とつながり起業 2. 地域キャリア理解度向上事業 若者が地域の企業、仕事を理解 3. 地域と若者の相互理解促進事業 地域企業が若者の働き方ニーズを知る		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロジェクト参加企業による新規雇用者数（+33人） ②プロジェクト参加者の起業数（+5件） ③プロジェクト参加者数（+450人）	関連URL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8424.htm

事業概要【人を育て、まちを育てる、くらしよし倉吉プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県倉吉市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	542,267千円（137,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・若年層の社会減に歯止めをかけるため、報通信産業（IT/DX関連）や、観光産業の振興を図る。 ・産業振興で得た交流人口をコンテンツやSNSを通じたコミュニケーションから関係人口の増加を図る。 ・事業を担う人材を市内で育成し、経済発展を基礎とした「活気あふれる元気なまち倉吉」を実現する。		
事業概要・ 主な経費	○ 中核人材育成事業：市内企業リーダーおよび次世代の中核人材の発掘・育成を推進する ・価値創造型人材育成プログラム(委託料) 43,000千円 ○デジタル教育事業：中核人材へのデジタルマーケティング教育や専門的なデジタルスキル教育から雇用創出を行う ・関係人口マーケティング研修（委託料） 4,000千円 ・専門ノウハウ取得と実践の場提供（委託料） 13,500千円 ○倉吉の魅力発見事業：倉吉の魅力を再整理し、関係者の活用推進と情報発信の統一を行う ・倉吉らしさ発見勉強会（委託料） 13,200千円 ・倉吉らしさ町中展開事業（委託料） 10,000千円 中核人材育成事業 リーダー人材育成 次世代発掘 デジタル教育事業 デジタルスキル教育 実践場の提供 倉吉の魅力発見事業 倉吉の魅力整理 倉吉の魅力商品化 事業推進 外部人材参画 デジタル関連雇用創出 (EC運営等) 地域商材開発 関係人口増加 若者の就労機会増加		
KPI	①若年層の人口増減率（+1.0%） ②育成した中核人材の数（+300人） ③デジタル教育を受講した人の内デジタル関連の仕事を受けた人数（+25人）	関連URL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8424.htm

事業概要【銀行の元支店を活用した「新しい働き方」と「空き家利活用」の促進を目指した複合施設整備事業】

申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	137,601千円 (86,030千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・本市中心市街地に位置する銀行の元支店（空き店舗）をビジネスや空き家情報が集まる複合施設として改修整備する。 ・IT・デザイン・企画といったクリエイティブ系企業のサテライトオフィスや人材育成の拠点とし、従来の産業構造や就業構造の変革を図り、若者や女性が希望する職が十分整い、生き生きと仕事や生活ができる環境を創出することで、シビックプライドの醸成を図り市民が主体的にまちづくりを進めていき、誰もが楽しく暮らせる倉吉市を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○サテライトオフィス誘致促進事業（委託料）8,777千円 ○テレワーカー育成事業（委託料）4,022千円 ○空き家活用サポートセンター運営事業（委託料）6,000千円 ○備品購入費 20,438千円 【拠点整備事業経費】 ○銀行元支店を複合施設として改修整備 ・建築物本体工事 25,535千円 ・建物と不可分な設備工事 18,700千円 ・デジタル設備整備 2,558千円					 ▲ 銀行元支店外観  ▲ サテライトオフィス誘致視察ツアー（イメージ上）  ▲ テレワーカー育成事業（イメージ下）  ▲ サテライトオフィス内観（イメージ）	
地域の多様な 主体の参画	当施設の整備・運営を担う商工会議所と連携し、利用者の増加に繋がる取り組みを行う。また、当施設所有者の金融機関等との連携により、空き家の利活用に特化したローンの運用や、遊休不動産のリノベーションに関するファンドの設立等を検討する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会減の逓減（+90人） ②本市に進出した県外企業のサテライトオフィスの数（+10社） ③市が実施するテレワーカー育成講座の受講者数（+100人） ④市内に存在する空き家の数（▲96件）

事業概要【稼ぐ農業から観光へ、活気ある倉吉創生事業】

申請者	鳥取県倉吉市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	315,880千円 (90,940千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	観光振興分野
目的・効果	・地域の魅力を観光商品として磨き上げ、プロモーションから販売までを地域で実行し稼げる体制を構築、持続的な観光客数の増加とツアー販売額の向上を目指す。 ・倉吉西瓜で培った稼げる農業をさらに発展させるため、PRによる認知度向上、農産品のブランド化、加工商品の開発を推進。農産品の販売額向上から、農業による地域の魅力向上を目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○「稼ぐ地域」をめざす観光地魅力創造事業 ・地域全体で取組む観光ビジョン作成（委託料）19,000千円 ・「稼ぐ」地域を目指したツアー開発（委託料）28,000千円 ○農業産品高付加価値化、観光・移住促進事業 ・農産品テキスト化・都市部プロモーション (委託料) 22,940千円 ・観光産品開発（委託料）21,000千円						観光地魅力創造事業 市場を知る！ 倉吉商材マーケティング 課題: ターゲット層理解不足、収益化不十分 施策: マーケティング調査 → ニーズ・受容性把握 未来: 市場認知度向上、販売チャネル確立 倉吉体験！ ツアー開発 課題: 滞在時間短い、地域資源が不十分 施策: ターゲット層に合わせたツアー開発 未来: 宿泊施設連携、雇用創出持続可能な観光地 倉吉ブランド！ 高付加価値商材開発 課題: 鍛冶・刀剣文化活用不十分 施策: 文化深掘り・ストーリー化・高付加価値商品販売 未来: 倉吉ブランド確立、新観光資源創出 農業産品高付加価値化・観光移住促進事業 倉吉の恵み！ 農産品プロモーション 課題: プロモーション力弱い、都市部認知度低い 施策: 特産品情報テキスト化、都市部プロモーション 未来: 認知度向上、国内市場販売拡大、新規顧客獲得 倉吉産！ 農産品加工品開発 課題: 6次産業化進まず、商材開発知識不足 施策: 地元企業商材開発支援 未来: 倉吉ブランド価値向上、地域産業競争力強化 倉吉の「宝」を磨き、国内外へ発信！ 活気あふれる「稼ぐ地域」へ 交流人口増加: 観光客・移住者増加 地域経済活性化: 雇用創出・税収増 持続可能な地域社会: 文化・伝統継承、自然環境保全	
地域の多様な 主体の参画	行政：各事業の全体調整を行い、参加する事業者、団体間の調整を図り地域内での連携を促進する。 地元観光協会：観光ツアー開発の事業推進主体として、市内での観光開発の中心となり、ツアー販売を主導することで地域全体へ経済効果を波及させる。 地元高等学校：農産産品のPRを協働する主体とし、各種農産品のPRをに学生を参加させることで、生産だけでないビジネスのできる農業従事者の育成と開発品への意見提案する。 地元新聞社：地域での事業PRを行うため、本事業による地域外への売り込み挑戦を地域内へ周知することでさらなる挑戦や応援を生みだす。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光入込客数（+20万人） ②開発ツアー販売額（+1000万円） ③開発商材販売額（+1000万円） ④開発ツアー参加者数（+710人） ⑤プロモーションイベント来場者数（+6000人）

事業概要【デジタル地域通貨を活用した地域内経済循環促進事業】

申請者	鳥取県若桜町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,286千円 (18,286千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・若桜町内でのみ利用可能な「デジタル地域通貨・ポイントサービス」を実装し、町外に流出している消費を町内へ取り戻す、町内消費を促進することで、地域内経済の好循環・商工業界の活性化を図るとともに、町独自の行政ポイントの発行も併せて実施し、町事業の推進による各種課題解決や地域コミュニティの活性化を図るなど持続可能なまちづくりへ繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度 事業費	○デジタル地域通貨・ポイントサービス導入事業 ・デジタル地域通貨・ポイントサービスの導入（ソフト経費） 委託料：5,992千円 （本部システムソフトウェア構築、カードデザイン・製版・作製、アプリ構築、販促用チラシ・ポスター・ステッカー作製、加盟店説明会、POSレジ連携サポート） ・デジタル地域通貨・ポイントサービスの導入（設備整備経費） 委託料：11,374千円 （電子マネーチャージ機導入、加盟店決済専用端末機導入） ○デジタル地域通貨・ポイントサービス運用事業 ・デジタル地域通貨・ポイントの発行等業務 委託料：150千円 ・デジタル地域通貨・ポイントサービスの運用 システム使用料：770千円						
地域の多様な 主体の参画	デジタル地域通貨・ポイントの発行団体である商工会を含めた会議体を組成し、地域内での連携促進を図る。 また、商工会による本部システムに蓄積された情報の分析・報告、自治会による地域住民の意見の吸い上げ等により、事業内容改善に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①起業・創業・継業者数（+15件） ②デジタル地域通貨・ポイントサービス決済額（+7億693万1千円） ③デジタル地域通貨・ポイントサービス加盟店売上額の増加割合（+10%） ④デジタル地域通貨・ポイントサービス利用者数（+1,340人） ⑤デジタル地域通貨・ポイントサービス加盟店数（+80店舗）

旧制度（推進）

申請者	鳥取県智頭町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	33,972千円（11,824千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・「チャレンジしやすい町」を目指し、機会の提供や安定経営を行うための環境づくりを行う。 ・電子地域通貨を指標として活用しながら、地域課題の解決やSDG s 意識の醸成を図る。 ・中間支援組織を新たに立ち上げ、スタートアップから開業後の伴走支援などをワンストップで行う。		
事業概要・ 主な経費	○ビジネスプランコンテストを開催 ・採択事業に交付（補助金）1,000千円 ・有識者へのアドバイザー料（委託料）960千円 ○SDG s 貢献度や地域課題の解決を見える化する指標として電子地域通貨システムを活用 ・運営支援業務（委託料）2,464千円 ○中間支援組織による伴走支援 ・委託業務（委託料）5,000千円 ○外部人材活用による経営ノウハウ享受 ・経費補助（補助金）2,400千円 ※経費内訳はR7年度事業費 <pre>graph TD subgraph TopRow [] direction LR A["起業希望 ・新規事業・事業承継 ・既存事業 新分野進出"] B["既存企業 ・地域貢献事業に着手希望 ・本事業活用企業2年目以降"] end A --> C B --> C C["審査会 ・SDGs・地域貢献 ・電子地域通貨活用"] D["行政等"] E["有識者"] D --> C E --> C C --> F["採択"] C --> G["不採択"] F --> H["新事業着手"] F --> I["起業"] G --> J["事業再検討 (再チャレンジを妨げない)"] J --> B K["中間支援組織"] L["開業関係 伴走支援"] M["開業後の伴走支援"] N["オープンイノベーション事業 スタートアップ補助金 年間1事業1,000千円"] O["外部人材活用補助金 ・新規採択企業分 1年目300千円 2年目500千円"] P["外部人材活用補助金 ・既存企業分 1年目300千円 2年目500千円"] K --> L K --> M K --> N K --> O K --> P</pre>		
KPI	①地域における新規雇用者数の増（+15人） ②UIターン人数（+15人） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 関連URL （中間支援組織「CHIPs」） https://www1.town.chizu.tottori.jp/chizu/chips/ （効果検証） 調整中		

事業概要【八頭若桜谷地域周遊促進事業】

申請者	鳥取県八頭郡八頭町、若桜町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	56,553千円 (19,513千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・八頭若桜谷地域の魅力を国内外に積極的に発信し、認知度を向上させつつ、域内イベントの集客力の強化や二地域居住等による滞在の提案等を行うことにより、域内の人の流れを創出し、地域の賑わい創出と産業振興を図る。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 八頭若桜谷地域に受け継がれてきた自然や財産、歴史や文化、地域の拠点、「若桜鉄道」等といった地域の特色や強みを最大限活用しながら、地域の新たなイベント創出等を図りつつ、スロートリップでの域内周遊の提案等を行うことにより、多くの域外居住者に当該地域への関心を寄せていただき、関係人口の拡大と域内各地への人の流れの定着化により、地域の賑わい創出と産業振興を図っていく。 【ソフト事業経費】 ○八頭若桜谷地域の魅力発信に関する事業 ・まちの魅力の情報発信（委託料）4,000千円 ・海外観光客向けの魅力発信（委託料）2,243千円 ・若桜鬼ヶ城に関するコンテンツ作成（委託料）1,500千円 ○域内周遊の促進に関する事業 ・「隼駅まつり」公式サイトの開設等（委託料）1,500千円 ・周遊・集客イベントの実施（委託料）2,330千円 ・多言語ガイドブック等の制作（委託料）1,400千円 ・地域資源を活用した商品の開発（委託料）2,000千円 ・子育て家庭の域内周遊促進（委託料）3,660千円 ・二地域居住のモニターツアー実施（委託料）880千円					八頭若桜谷地域への人の引き込みと 若桜鉄道各駅から域内各地域への人流拡大の実現 	
地域の多様な主体の参画	観光協会には周遊ルート検討等での協力と主体的な取組を行っていただき、域内の金融機関には誘客の重要要素である若桜鉄道の経営改善等に関与いただき、また、地域団体には観光資源等を活用したイベント等の実施を担っていただき、行政と各主体との協議や改善点の共有等を通じて効果的な事業実施を実現する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+4,500人） ②若桜鉄道普通旅客乗客数（+2,100人） ③イベント参加者数（+2,400人） ④二地域居住モニターツアー参加者数（+12人）

※鳥取県八頭町及び若桜町の広域連携事業

申請者	鳥取県湯梨浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	42,369千円（13,732千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	湯梨浜町発祥のグラウンド・ゴルフが世界的に健康増進のための生涯スポーツとして普及することにより、インバウンドの拡大等による地域経済の活性化をもたらす、町民の誇りを醸成させ、人や資源がより輝く魅力的な「グラウンド・ゴルフの聖地」を創出する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○海外協会等体制強化及びWMG等PR2,907千円 （特別旅費、消耗品費、通信運搬費、翻訳料、使用料及び賃借料） ○海外向けグラウンド・ゴルフ体験型旅行商品造成6,074千円 （委託料） ○中古用具等収集・提供・再生4,151千円（消耗品費、通信運搬費、修繕料） 再生した用具を海外協会等に多く提供し、効率的に海外普及を促進する。 ○用具海外販売促進600千円（通信運搬費） 町が送料を負担し、湯梨浜まちづくり(株)による海外用具販売を促進する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人宿泊客数（+8,671人） ②海外用具販売額（+4,200千円） ③中古用具提供数（+2,340本） ④国際グラウンド・ゴルフ連盟加盟国数（+7か国）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.yurihama.jp/soshiki/7/8207.html （効果検証） https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1546.html



事業概要【若者を呼び込む多世代が充実安心して暮らせるまちづくり事業】旧制度（推進）

申請者	鳥取県湯梨浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	154,699千円（51,305千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	多世代交流の流れを全町に広げるとともに、首都圏からも人材を呼び込み若者の雇用の場の充実や、未利用資源や地域ニーズの掘り起こしによる経済循環と課題解決につなげる仕組みづくりを行い、若者の定住と首都圏等からの移住を促進して、安心して出産、子育てができ、その子どもがさらに定住する持続的地域社会の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○空き家一括借上による活用促進事業4,000千円（補助金） ○プロフェッショナル人材マッチング事業31,194千円（委託料、旅費） 町内企業へ首都圏等プロフェッショナル人材の移住就業や副業をマッチングし、企業の付加価値創造力と雇用力の強化を図る。 ○移住検討者へのお試し居住体験ガイド事業 1,102千円（委託料、広告料）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①活躍人口数（しごとコンビニ登録者数＋協働組織構成員数＋空き家一括借上制度活用者数＋交流イベント参加者数＋都市圏プロフェッショナル人材数）（＋178人） ②県外からの移住者数（＋120人） ③新規就業・起業者数（＋75人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://m.facebook.com/yuyuyuriham a/（効果検証） https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1546.html

事業概要【日韓友好資料館サイクルステーション拠点整備事業】

申請者	鳥取県琴浦町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,200千円 (44,220千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・サイクルを活用して地域経済の活性化を図り、町内に観光を通じた新たな産業と雇用を創出する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①鳥取うみなみロードの中間地である日韓友好資料館を 模様替えし、レンタサイクルや修理工具を設置した サイクルステーションとして再整備。 ②町の海側の「観光」と「食」を活用し、通過型から脱却し 滞在時間延伸による観光消費拡大を図る。 ③当施設を活用した着地型観光商品を提供する民間事業者の 誘致を検討し、観光を通じて町内に持続可能な新たな産業と 雇用を創出する。 【拠点整備事業経費】合計 44,220千円 ○日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 (設計・監理・工事) ・34,100千円 ○サイクルステーション備品購入費 ・1,100千円 ○サイクルステーション施設外看板貼替工事 ・2,640千円 ○琴浦町観光協会HP・観光パンフレット作成委託料 ・5,500千円 ○アドバイザー報償金 ・880千円					【日韓友好資料館】   事例：十勝川温泉サイクルステーション(トカブチ400) 工具貸出し・空気入れ、 情報提供等 サイクルラック 遊楽施設 【写真：左端並み奥側】 COME! CYCLISTS ルートMAPの提供 座って食事ができる ベンチやテーブル 出典元：ナショナルサイクルルート制度（国土交通省 自転車活用推進本部）▲	
地域の多様な 主体の参画	○飲食事業者や宿泊業者と連携したサイクル周遊ルートの周知 により滞在時間の延長を促進する。 ○情報発信の強化やイベントでの認知度アップを図るため、 琴浦町観光協会、道の駅の施設管理者、地元地域団体等 と連携する。					KPI ※カッコ内の数 値は最終事業 年度までの 「KPI増加分の 累計」の目標値	①琴浦町観光入込客数（+180,000人） ②道の駅ポート赤碕観光入込客数（+80,500人） ③レンタサイクル延利用者数（+300人） ④サイクルイベント参加者数（+150人）

事業概要【青山剛昌ふるさと館を拠点とした地域再生事業】

申請者	鳥取県北栄町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,340,671千円 (548,722千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・世界中から多くの観光客が訪れる青山剛昌ふるさと館を整備し、集客・観光消費額・関係事業者の収益の増加を図る。これを起点として、関係産業の拡大や、北栄町を商機と捉える人の呼び込み、町民が新しい町の魅力を享受して愛着を深め、持続可能な地域の好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 青山剛昌ふるさと館の再整備により観光・交流の拠点をつくとともに、観光客や地域住民等幅広い人にあらゆる角度から町の魅力を伝え、継続的な町の賑わいを生み出すための事業を実施する。 【ソフト事業経費】 ※主なもの ○「稼ぐ力」の強化と地域経済循環の活性化事業 ・観光市場調査・商材開発・ツアー造成など（委託料） 42,660千円 ・創業支援・高付加価値生産（補助金） 12,000千円 ○住みたくなるまちづくり事業 ・情報発信・事業化相談・コミュニティ支援など（委託料） 24,560千円 ・経営支援・イベント実施など（補助金） 3,515千円 ○住み続けたくなるまちづくり事業 ・町民がまちづくりに関わるプログラム（委託料） 12,600千円 ・若者交流の場を大々的に開催（補助金） 7,500千円 【拠点整備事業経費】 ○計画地の造成、基礎工事等を実施 ・建築物本体工事 356,423千円 ・電気設備工事 40,961千円 ・機械設備工事 74,895千円 ・敷地造成工事 33,865千円						
地域の多様な 主体の参画	地域内外の中核人材を軸に創設した地域会社による生産品の地域外への販売、企業のマッチングを行うとともに、商工会や観光協会等の地域内での連携を促進する。併せて銀行による事業創出支援、新聞社による情報発信、大学による事業効果検証、労働関係者の意見反映、地域住民の参画により地域全体としての事業を進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+840,467千円） ②ふるさと館の入館者数（+99,393人） ③ふるさと館周辺エリアの新規出店件数（+14件） ④年間移住者数（+60人） ⑤町民の満足度（+6.6%）

事業概要【日吉津村「官民連携による持続可能なまちづくり事業」】

旧制度（推進）

申請者	鳥取県日吉津村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	83,500千円（30,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・子育てするなら「日吉津」と言われる村を目指し、子育て世代の流入を図る。 ・住むなら「日吉津」と言われる村を目指し、総合的な移住支援を行い、移住者の増加を図る。 ・地域資源を活かした賑わいの創出を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ①民間企業等との横断的な連携を強化し、社会課題解決に向けて実践力を強化する。 ②民間企業の専門的なノウハウを活用し、海浜運動公園の整備を行う。 ③村の認知度を上げるため多様なメディアを活用して村の魅力を発信する。 【主な経費】 ①「事業実践チーム」編成とシティマネージャー事業 ・「事業実践チーム」プロジェクトマネージャー費 3,000千円 ・地方創生シティマネージャー（専門人材） 8,000千円 ②海浜運動公園の魅力化事業 ・海浜運動公園整備支援事業 15,000千円 ③シティプロモーション事業 ・動画作成、SNS活用などPR広告費 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①日吉津村への移住者数（人口社会増の数）（+45人） ②海浜運動公園利用者数（+36,000人） ③民間住宅整備棟数（+30棟）	関連URL	https://www.hiezu.jp

事業概要【日吉津村海浜運動公園再整備事業】

申請者	鳥取県日吉津村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,102,344千円 (405,328千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・スポーツ、アウトドアを軸とした観光・交流の拠点としての海浜運動公園の魅力化を図る。 ・関係人口を増加させ、安心して子どもを育てられる地域として定住を促進し、地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 海浜運動公園内にグランピング施設を整備するとともに、子どもたちの育成環境の向上を図る子育て交流拠点を整備する。 【ソフト事業経費】 ○予約管理システム開発事業 ・システム開発費 10,000千円 【拠点整備事業経費】 ○建築本体工事 ・グランピング施設建設費 102,786千円 ○建築物と不可分な設備工事 ・多目的スポーツ広場整備費 140,875千円 ・オートキャンプ場整備費 18,087千円 ・ビクターセンター改修費 85,085千円						
地域の多様な 主体の参画	住民や地元業者等と連携を図りながら、地域に賑わいをもたらし、地域の人たちが集まる空間を創出していく。また、魅力発信についても、住民参画による「個の力」、行政組織による「公の力」、メディア等の知見を活かした「民間の力」を掛け合わせ、小さな地方自治体からでも地域の主体と連携することで効果的な発信を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①海浜運動公園利用者 (+42,000人) ②キャンプ場利用者数 (+5,000人) ③新設商業店舗 (+1店) ④人口の社会増 (+90人)

事業概要【日吉津村地域資源を活用した新商品開発と販路開拓事業】

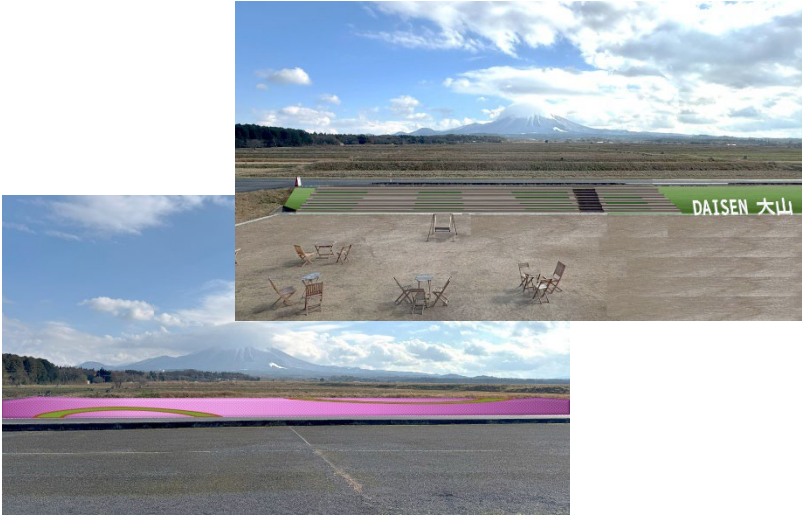
申請者	鳥取県日吉津村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	482,635千円 (61,750千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	- 市場から見て価値のあるものを創り販売するために、既存の施設内に、日吉津村の産品を販売するショップを整備し、テスト販売、テストマーケティング、試食会を実施する。また、「売れる商品」「付加価値のある商品やサービス」を見極め、新商品開発を行う加工所を新たに整備する。 - 外部経済を取り込み、地域に根差した新たな産業を振興し、その新商品を呼び水としたさらなる新商品開発の循環を作り、県の内外に魅力ある日吉津村の産業をアピールすることで、日吉津村の地方創生を進める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 地域資源を活用した新商品や新メニューを開発するとともに、販路開拓を行う。また、ビジネス人材の育成、スタートアップ人材の発掘を行う。 さらに、既存施設内にアンテナ店舗を整備し、テスト販売等を行う。 【ソフト事業経費】 ○商品開発支援事業 - 商品共同開発費 6,000千円 - ブランディングセミナー委託費 3,100千円 ○販路開拓事業 - 新メニュー開発支援費 1,200千円 【拠点整備事業経費】 - 建築物整備 42,350千円						
地域の多様な 主体の参画	生産者、地元事業者、商工会等と連携を図りながら、地元農産物を活用した商品開発や新メニューを開発し、販路開拓を行う。 これらの事業は、住民を巻き込み意見を聴きながら、民間事業者と協力して進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業の担い手 (+3人) ②新商品の開発 (+6件) ③ビジネス人材、スタートアップ人材の発掘 (+4人)

事業概要【「全世代・全員活躍のまち南部町」推進プロジェクト】

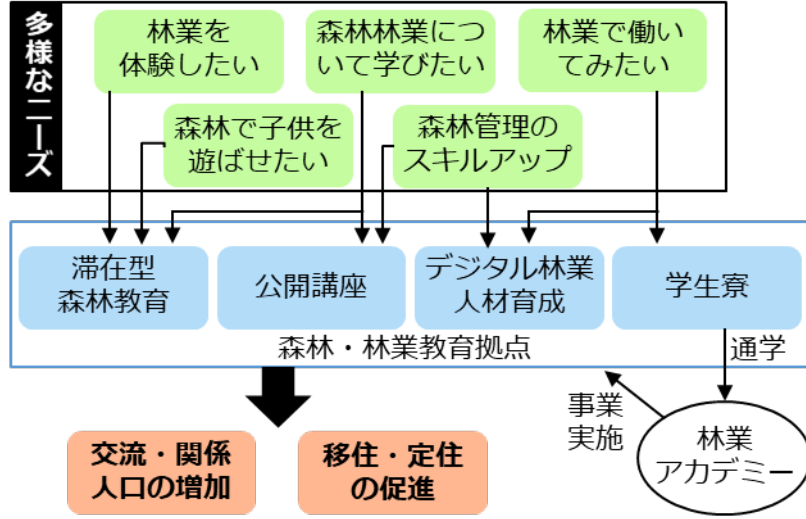
旧制度（推進）

申請者	鳥取県南部町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	337,187千円（64,636千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	「交流・居場所」「活躍」「しごと」「住まい」「健康」の分野ごとの取組みを官民一体となって実施することで、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う「地域コミュニティ」を形成し、その情報を町内外で積極的にPRすることで、以前から住んでいる町民が「南部町に住み続けたい」と思い、町外の人々や企業・団体等が「南部町に住みたい、関わりたい」と思うような「全世代・全員活躍のまち南部町」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○多世代・多文化の方が交流・活躍する「ごちゃまぜ」の居場所づくり・JOCA（青年海外協力協会）による多文化交流、生涯活躍の推進に関する取組への支援（負担金） 7,800千円 ○「しごとコンビニ」によるワークシェアリング、すきま時間を活用した町民の活躍の場づくり ・「しごとコンビニ」事業の実施（委託料） 9,633千円 ○空き家を活用した住まいの「確保・環境整備」 ・空き家の改修費（補助金） 3,500千円 ○地域における外国人材の活躍と多文化共生社会の実現を図る専門人材を招聘する ・外部専門人材(JICA)の招聘（負担金）8,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①活躍人口増加数（+4,585人） ②空き家の利活用件数（+20件） ③新たな事業主体となる法人（団体）数（+1法人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.nanbu.tottori.jp/satoyama/iju/ccrc/ （効果検証） https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/x147/

事業概要【美術館周辺観光拠点化事業】

申請者	鳥取県伯耆町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,166千円 (46,166千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・近年、本町のにぎわい創出拠点となりつつある写真美術館周辺の観光拠点化（魅力向上）を目的として、周辺の未活用地等を景観を意識した絶景スポットに整備するとともに、SNS等を活用した情報発信を積極的に進めることにより、インバウンド等の観光客増加を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業経費】 ○荒廃地を、景観植物を一面に栽培したフラワーロードに整備。 ・工事費 15,603千円 ○美術館周辺でにぎわい創出のきっかけとなっているハム工場の直売所（民間事業者）にある芝広場に隣接する公有地を、階段状ベンチに整備。 ・設計委託料 7,000千円 ・工事費 23,563千円 【本交付金事業との連携事業】 ○SNS等による情報発信（来訪者が更なる来訪者を呼ぶ仕組構築） ・来訪者にSNS等で情報拡散してもらうようなイベントを企画 ○民間事業者の取組 ・「DAISEN 大山」のモニュメント設置や直売所で販売する新製品開発等							
地域の多様な 主体の参画	本事業実施地に隣接する民間事業者（ハム直売所）もモニュメントを設置し、美術館周辺の観光拠点化に取り組むほか、既に美術館周辺でイベントを実施している実行委員会（商工会、観光協会も参画）とも連携し、誘客促進を図る。 また、産官学金言が参画する総合計画審議会にて事業計画及び進捗状況の審議を行う。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①伯耆町観光入込客数（+75,000人） ②写真美術館入館者数（+6,900人） ③テラスザダイセン利用者数（+82,000人） ④鳥取県に関するイメージ調査【認知「大山」】（+4%） ⑤フォトイベント参加者数（+700人）

事業概要【林業先進地域が拡げる！日南町型フォレスター育成プロジェクト】

申請者	鳥取県日野郡日南町					回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	260,704千円 (251,504千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・森林・林業の教育拠点を整備し、滞在型森林教育の実施や町営林業学校（林業アカデミー）の講義の一部を公開講座とすることで、観光振興による交流・関係人口の増加を図る。 ・デジタルツールやweb環境を整備し、既存の林業教育を強化することで、移住・定住者の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【拠点整備事業経費】 ○既存の施設を改修し、本町に滞在しながら受講する森林教育を実施するために、講義室や森林・林業に関する展示室及び林業アカデミーの学生が1年間居住するための学生寮を整備する。 ・改築工事設計監理業務（委託料）14,960千円 ・建築改修工事（工事請負費）161,700千円 ・電気設備改修工事（工事請負費）29,260千円 ・機械設備改修工事（工事請負費）44,000千円 ・学生寮備品購入事業（委託料）1,584千円						
地域の多様な 主体の参画	産官学が共同で、滞在型森林教育のプログラム作成や公開講座の充実、デジタル林業の人材育成に取り組み、参加者の増加を促進させるために、観光協会、金融機関、地域メディアとの連携を強化していく。また、新たに学生寮を建築することで人流を促進させ、地域の移住・定住関連の組織と連携することで、地方への人の流れを促進に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの移住者数（+27人） ②林業アカデミー卒業生の町内への新規林業就業者数（+2人） ③町外者向けの森林教育の実施件数（+46件） ④公開講座の参加者の延時間数（+200時間）

事業概要【官民連携によるまち・ひと・しごと創出事業】

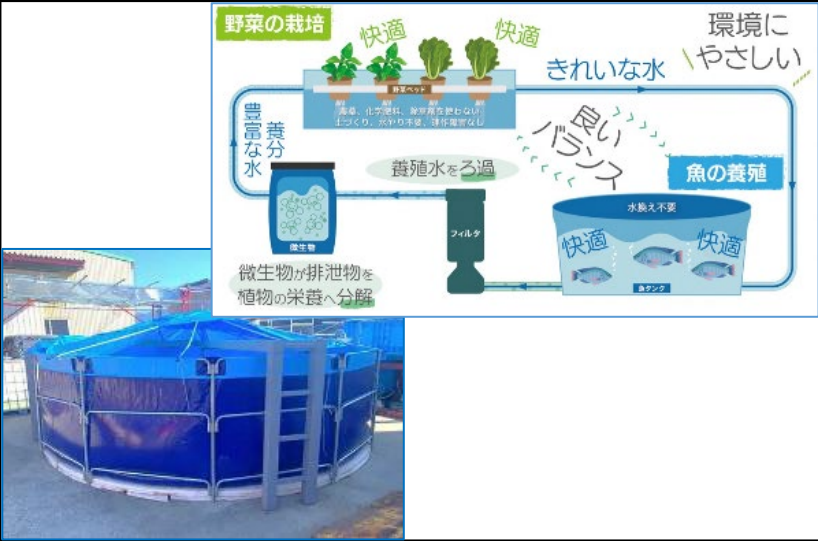
旧制度（推進）

申請者	鳥取県江府町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	164,127千円（51,720千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・少子高齢化による地域コミュニティの衰退・若者の流出と空家の増加・人材不足などの社会課題を、住民・行政・民間企業が連携して解決を図り、行政・民間企業との連携により、次世代につなぐ住み続けられる町づくり、自助・共助を強化した住民主体によるまちづくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	1. 自律的集落経営事業と地域運営組織の設立事業 シティマネージャー 7,000千円 地域マネージャー 4,000千円 モデル集落情報発信 1,500千円 2. PPP/PFI手法による移住促進事業 移住定住官民連携マネージャー 4,000千円 PPP手法町営住宅整備計画策定事業 10,000千円 地域拠点リノベーションスクール 8,000千円 3. 稼働力の強化とシティプロモーション推進事業 身の丈創業塾 2,000千円 新商品ブランド開発 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域運営組織設立数（+2件） ②移住人数（+7人） ③ふるさと納税の増加率（+15%） ④起業件数（+3件）		関連URL https://www.town-kofu.jp/2/1/2/5-copy/1/z109-copy/

事業概要【江府町「グリーン・ネイチャー・アドベンチャー for All Country」展開事業】

申請者	鳥取県江府町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,000千円（18,000千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・雄大な自然を有し、良質な水を育む「奥大山エリア」のブランディングを実施し、来訪者の滞在時間の延長による地域内消費の増加と満足度を高めるとともに、インバウンド対策に取り組む。 ・「環境」を重視した「観光」の推進に取り組むことによって他の地域との差別化を図り、「環境」に共感する来訪者のニーズの受皿となることを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	1. 旅行商品の造成・高度化 ・教育素材(自然体験・環境学習)の拡充 (補助金) 2,000千円 ・体験素材の拡充 (補助金) 2,000千円 ・体験と学びを提供、指導できる人材の育成 (補助金) 1,500千円 2. 受入環境の整備 ・滞在時間の延長と消費額の拡大に向けた方策の具体化 (補助金) 2,000千円 3. 情報の発信と活用 ・海外も視野に入れた果敢な広報活動と販売促進活動 (補助金7,000千円) ・販売促進、情報発信業務を互助的に行う組織の構築、運営 (補助金) 3,000千円)						
地域の多様な 主体の参画	地元業者、関係業者と共同で旅行商品の開発、体験素材の充実、受入環境の整備、情報の発信に取り組み、地域内での連携を促進する。町内関係者が参画する運営主体により、実行と改善を繰り返し、事業内容への反映に努め、商品の磨き上げを行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+463,417円） ②旅行商品パッケージ開発数（+3個） ③観光消費額（+463,417円） ④休暇村奥大山来訪者数（+39,721人）

事業概要【奥大山の水を活用した陸上サーモン養殖と水循環型野菜の栽培事業】

申請者	鳥取県江府町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	223,000千円 (128,700千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 農林水産分野
目的・効果	・新たな産業として、サーモン養殖や食用花の出荷を掲げ、若者定住や移住者への働く場所の確保し、就労人数の増加、所得増を目指す、また若者や移住者の定着により地域の賑わいを取り戻すことを目的とする。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本事業である陸上サーモン養殖事業に関しては、有限会社ひらやまによる養殖ノウハウを導入する、雇用の創出、新たな産業として位置付け、道の駅や地元スーパー等での販売を行う。R7は水槽を6基計画し、R9には合計18基となる計画とする。 【拠点整備事業経費】 124,200千円 ○建築物整備 ・体育館改修 9,700千円 ・水槽設置（6槽） 36,000千円 ・加工施設 17,500千円 ・給排水 5,500千円 ○測量設計費 ・井戸さく井業務 30,000千円・井戸ポンプ設計 4,000千円 ○施設整備費 ・水源ポンプ等電気設備工事 11,000千円 ・監視カメラ・自動餌やり機 5,000千円 ○施設備品費 ・急速冷凍機、冷蔵庫、冷凍庫 5,350千円 ・フィルター 150千円 【ソフト事業】 ○ホームページ、パンフレット、イベント開催費用 4,500千円						
地域の多様な 主体の参画	計画から事業実施については、(有)ひらやま及びローカルファースト研究所と連携し、実施主体については地元企業及び、農家、商工会等より選出し販路確保、販売促進イベント等を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産物の出荷額（+58,360千円） ②地域雇用人数（+6人） ③生産量（+39.6トン） ④品質（目標サイズ53cm） ⑤販売先件数（+6件）